

桜岡

学校だより 7月号

学校教育目標
自ら輝く 共に輝く

平成19年6月29日

体験を重ねて

校長 大堀 郁雄

9月に行われる個別支援学級合同宿泊学習を残して、5月には6年生の日光宿泊体験学習、6月には5年生の愛川宿泊体験学習、4年生の上郷宿泊体験学習と泊を伴う大きな学校行事が無事に終わりました。終えたときの子どもたちの表情からは疲れも見えましたが、それ以上に自分たちで運営し、やり遂げたという自信が満足した表情をつくっていました。満足感がもっとやってみたいという意欲を高め、次の更なる学びにつながっていくことでしょう。

私は6年生と5年生の体験学習の引率をしました。6年生は足尾の澄み切った青空の下での植樹体験、9kmのハイキングと、それぞれの活動を通して環境保護の大切さを実感したことでしょう。また二日目は間近に見る上野島や数の合わない並び地蔵見学コース、日光彫り体験コースの選択活動、三日目はグループでの二社一寺（東照宮、二荒山神社、輪王寺）の見学と、盛り沢山の二泊三日の体験学習でした。

5年生は今年から一泊二日の体験学習です。しかし活動内容を精選・充実させることで中味の濃い体験学習となりました。一日目は水辺の観察・グラウンドゴルフコースと高取山コースの選択活動。高取山コースを選んだ80人の子どもたちは急な山道を2時間登り（私も）、全員が山頂に立って吹き上げてくる爽やかな風と雄大な景色を堪能しました。川コースでも水辺の生き物を観察したり、地元の若者とふれあったりと楽しい活動ができました。夜はキャンプファイヤーで歓声をあげ、二日目は藍染め体験やクラフトなど愛川ならではの地域のよさを生かした活動ができました。

4年生の上郷体験学習は副校長が引率をしました。一日目は自然散策やウォークラリー、夜はキャンプファイヤーやほたる鑑賞会。（今年は昨年にもましてたくさんのほたるを見られたそうです。）二日目は野外でのカレーづくり。初夏の上郷の森の中で、子どもたちが決めたテーマ「自然に親しみ、友情を深め、思い出いっぱい」の体験学習を終えることができました。

今年の宿泊体験学習はすべて天候にも恵まれ、一人ひとり思い出に残る学習になったと思います。今後はそれぞれの学年に応じた活動の一層の充実を図り、系統立てて桜岡小ならではの体験学習にしていきたいと思います。

また、6月9日の地域の環境美化活動として長年取り組まれている大岡川クリーアップには、学校から子ども35人、保護者22人、教職員18人が参加しました。地域の「子ども会」から参加した子どもたちもたくさんいました。事前に行われた打ち合わせ会ではこの活動を続けてきた地域の皆様の熱い思いを感じました。「昔は清流だった大岡川が一時は死んでしまったようだった。しかし長年にわたる活動で川に魚が戻ってきた。」「今では川エビやウナギが生息している。」「ボラの大群を見かけたよ。」「・・・

喜々として大岡川やプロムナードに残るごみや煙草の吸い殻などを拾う子どもたちは、体験を通して環境を守る大切さやマナーの大切さを学んだことでしょう。満足して家路に着く子どもたちの笑顔からは、たくさんの貴重な学びがあったことを感じました。この活動に参加した子どもたちにはもう「ごみを捨ててはいけませんよ。」という声かけは不要なのでは、とも思いました。

学校は社会規範を身につける場でもあります。大人が「をやってはいけません。」と教えていくことが必要です。そして規制だけに留まらず、子どもが自ら考え、行動できるようにするために、私たち大人がまず模範を示すとともに、子どもの姿に学ぶ謙虚な姿勢も持ち続けていきたいと思いました。

